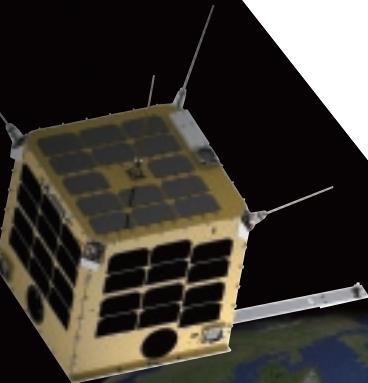




Always WITH you!

どんなときでも、あなたと共に



WNI-SAT
(Polar Routing)



TSUNAMI
Radar

第27期
第2四半期
報告書

株式会社ウェザーニューズ

証券コード 4825





代表取締役社長
草開 千仁
(くさびらき ちひと)

株主サポーターの皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、当期より“Service & Infra Company WITH the Supporter、21世紀型のインフラカンパニーを目指して”をスローガンに、「革新性」を追求する第四成長期をスタートさせました。

経営上の重点項目を、

- 1：航海気象における1万隻へのOSR (Optimum Ship Routeing) サービス展開
- 2：空と陸の交通気象のグローバル展開
- 3：ウェザーリポーターネットワークのグローバル展開

とし、第三成長期に引き続き「交通気象」と「モバイル・インターネット」をグローバルで展開しながら、オクラホマイノベーションセンターにおいて、引き続き革新的なインフラ開発を推し進めるとともに、日本、オクラホマに、アムステルダムを加えた3極での運営体制の実現に向けた取り組みを行い、当社の夢である「70億人の情報交信台」を目指していきます。

陸の交通気象のアジア展開がスタート

当第2四半期では、売上高が6,072百万円（前年同期比3.7%減）となりました。利益面においては、営業利益1,181百万円（前年同期比10.6%減）、経常利益1,177百万円（前年同期比1.9%減）、純利益739百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

B to B（法人向け）市場は、重点事業である交通気象が3.1%成長し、B to B全体では1.0%売上成長しました。

交通気象の核であり、グローバルにサービスを展開する航海気象は、安全性、経済性、環境性を加味して運航を最適化するOSRが、アジア・南米・欧州のコンテナ船、ばら積み船を中心にサービスが拡大しました。また第四成長期に入り本格的に展開を開始した、陸の交通気象である道路気象では、日本以外で最初の顧客となる中国の江蘇省高速道路へのサービスが決定しました。当社は、このサービス開始を足がかりに中国の全高速道路をはじめ、アジアにおける陸の交通気象サービスの展開に拍車をかけていきます。

B to S（個人向け）市場では、モバイル・インターネットが、エコシステムの変化により前期とほぼ同様の結果となりましたが、その他のメディアにおいて前期に発生した地上デジタル放送の完全移行に伴う初期売上の影響もあり、B to S全体では7.8%減収となりました。

スマートフォン向けアプリケーション「ウェザーニュースタッチ」は、大幅なバージョンアップを行い、ウェザーリポーターは30万人から300万人に増加しました。今後は、ウェザーリポーターとなった潜在サポーターの有料メニューへの引き込みや、ウェザーリポーターネットワークのグローバル化に向けた取り組みも開始します。

下半期の見通し、第四成長期への助走を加速

B to B 市場では、航海気象において、日本、欧州、アメリカにおけるばら積み船・タンカー向けOSRサービスの展開を加速します。また、海運会社からの要望の強い、短い航路、沿岸航行のサポートの最適化を行うCSR (Coastal Ship Routeing) サービスも開始します。

B to S市場では、モバイル・インターネットにおいて、ソーシャル時代ならではの新サービスの展開を進めると共に、SAMSUNGとのコラボレーションによるグローバルア

プリの展開も開始します。

このような取り組みにより、通期の業績は期初の計画どおり、売上高13,500百万円、営業利益3,300百万円、経常利益3,300百万円、当期純利益2,000百万円を見込んでいます。なお、配当につきましては、前期に引き続き年間ベースを40円とし、20円の中間配当を実施します。

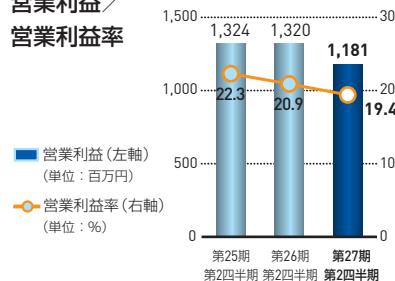
つくばを襲った竜巻、梅雨末期の九州を襲った豪雨、中国万里の長城での遭難事故など、昨年も気象による災害は、日本のみならず全世界的にも多く発生し、企業・サポーターの皆様から当社に対し様々な期待の声をいただきました。当社は、リスクを恐れることなく、皆様と共に革新的なアプローチによって、そうしたご期待にお応えし、グローバルに視野を広げた新しい価値創造を積極的に進めていきます。

今後とも株主サポーターの皆様のご支援、ご参加を賜りますようお願いいたします。

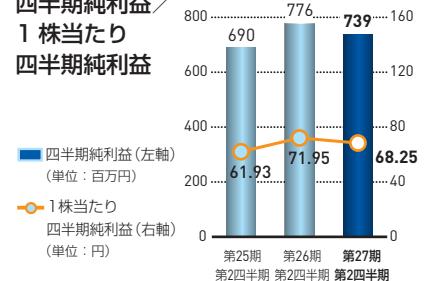
売上高の推移

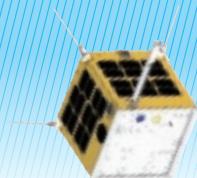


営業利益／営業利益率



四半期純利益／1株当たり四半期純利益





WNI-SAT

当社スタッフが北極海航路へ。 Polar Routeing サービスの高度化に向け実地調査

2012年の北極海の海氷面積は過去最小を記録しました。北極海を航行した船舶は2011年以上に増加し、当社が提供する北極海の安全かつ経済的な運航を支援するPolar Routeing サービスに、世界の海運会社から注目が集まっています。

その北極海の海氷を観測するWNI衛星の打ち上げは、打ち上げ機関側の都合により延期となりましたが、今期中の打ち上げに向け準備を進めています。

一方2012年10月、デンマークの海運会社の協力により、当社スタッフが実際に北極海を航行する船舶に乗船し、どのタイミングでどのようなサービスが必要なのかを確認するために実地調査を行いました。この実地調査で、2013年夏には高度化されたPolar Routeing サービスが可能となりました。

累計ダウンロード数820万を超える、スマートフォン向けアプリケーション「ウェザーニュースタッチ」。2012年7月に大幅なバージョンアップを行った結果、ウェザーリポーターはバージョンアップ前の約30万人から350万人に増加し、これまでの6倍にあたる1日約3万通ものレポートをいただいています。またスマートフォンならではのコンテンツも充実し、12月のふたご座流星群や2013年1月のしぶんぎ座流星群の際には、流星シーンを即座に動画でお届けする「流星キャッチャー」を展開し、有料会員もこの期間だけで3,000人増加しました。

今後は、花粉、サクラなどの人気コンテンツをソーシャル時代ならではの新しい展開にて開始させるとともに、ウェザーリポーターとなった潜在的なサポーターの有料化やウェザーリポーターネットワークのグローバル化に向けた取り組みも開始します。



Weathernews Touch

「ウェザーニュースタッチ」が大幅リニューアル

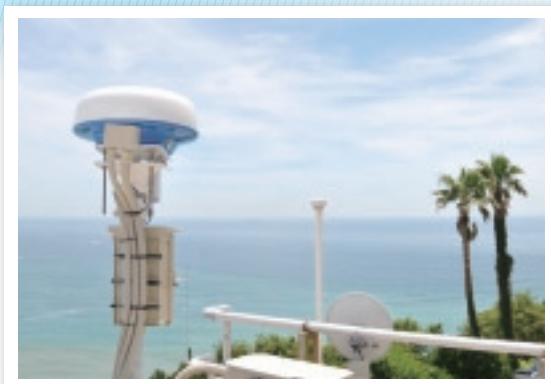


TSUNAMI Project

TSUNAMIレーダー、 東海・東南海・南海地震エリアへ拡大

2011年の東日本大震災をきっかけに発足したTSUNAMIプロジェクト。津波を観測するTSUNAMIレーダーを東北～北関東の太平洋沿岸に設置し観測を始めていますが、当期より東海・東南海・南海地震が想定されるエリアにも拡大し、設置箇所は10カ所から19カ所となりました。下半期以降もこの流れを継続し、早急に日本全国に展開する予定です。

また、2012年9月～11月には全国7都市（札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡、那覇）で「津波対策Forum」を開催しました。およそ500名の港湾関係者、交通関連企業などに来場いただき、TSUNAMIレーダーを利用した新たな対応策サービスの共創、今後の設置予定などを参加者と共有しました。



TSUNAMIレーダー
ネットワーク



津波対策Forum



四半期連結貸借対照表 (単位：百万円)

	前期末 (平成24年5月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成24年11月30日)
【資産の部】		
流動資産	4,832	5,029
固定資産	3,966	3,937
有形固定資産	2,517	2,457
無形固定資産	519	579
投資その他の資産	929	900
資産合計	8,798	8,966
【負債の部】		
流動負債	1,367	1,158
固定負債	94	29
負債合計	1,462	1,187
【純資産の部】		
株主資本	7,484	7,967
資本金	1,706	1,706
資本剰余金	955	952
利益剰余金	5,934	6,403
自己株式	△1,112	△1,094
その他の包括利益累計額	△148	△188
純資産合計	7,336	7,779
負債純資産合計	8,798	8,966

四半期連結損益計算書 (単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成24年6月1日から 平成24年11月30日まで)
売上高	6,305	6,072
売上原価	3,332	3,588
売上総利益	2,973	2,483
販売費及び一般管理費	1,652	1,302
営業利益	1,320	1,181
営業外収益	5	8
営業外費用	125	11
経常利益	1,200	1,177
特別損失	0	—
税金等調整前四半期純利益	1,200	1,177
法人税、住民税及び事業税	412	426
法人税等調整額	11	11
少数株主損益調整前四半期純利益	776	739
四半期純利益	776	739

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 (平成23年6月1日から 平成23年11月30日まで)	当第2四半期 連結累計期間 (平成24年6月1日から 平成24年11月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	608	828
税金等調整前四半期純利益	1,200	1,177
減価償却費	311	286
法人税等の支払額	△468	△539
その他	△434	△96
投資活動によるキャッシュ・フロー	△363	△263
有形固定資産の取得による支出	△225	△140
その他	△138	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△299	△388
短期借入金の純増減額	100	—
長期借入金の返済による支出	△153	△82
社債の償還による支出	△70	△50
配当金の支払額	△188	△269
自己株式の売却による収入	14	14
その他	△1	△1
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少額)	△85	155
現金及び現金同等物の期首残高	1,011	2,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	926	2,174

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 四半期連結貸借対照表

総資産は、現金及び預金などの増加により、前期末比168百万円増の8,966百万円となりました。また、負債は、未払法人税等の計上期間差等および長期借入金の返済により、前期末比274百万円減の1,187百万円となりました。

純資産は、配当を行う一方で、四半期純利益の計上などにより、前期末比442百万円増の7,779百万円となりました。

これにより、自己資本比率は86.8%となりました。

POINT 2 四半期連結損益計算書

サービス提供の拡大により重点事業である交通気象が成長したものの、放送局の地上波デジタル化対応に伴う売上が前期で一段落した影響もあり、売上全体で6,072百万円(前年同期比3.7%減)となりました。

営業利益は、サービス拡大の要員手当てもあり、1,181百万円(前年同期比10.6%減)、経常利益1,177百万円(前年同期比1.9%減)、四半期純利益739百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

POINT 3 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等539百万円を支払う一方で、税金等調整前四半期純利益1,177百万円を計上したことなどにより828百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や無形固定資産の取得による支払などにより263百万円の支出となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済82百万円や、配当金の支払269百万円などにより、388百万円の支出となりました。

商号

株式会社 ウェザーニューズ

設立

1986年(昭和61年)6月

本社所在地

〒105-0014

東京都港区芝3-1-14日本生命赤羽橋ビル

グローバルセンター所在地

〒261-0023

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3

幕張テクノガーデン

電話番号

043(274)5536(IR代表)

資本金

17億6百万円

社員数

621名[このうち海外グループ98名]

役員

代表取締役社長	草開 千仁
代表取締役副社長	宮部 二郎
取締役副社長	戸村 孝
常務取締役	志賀 康史
取締役	アントニオ・ブリッツォ
取締役	森田 清輝
取締役	石橋 知博
取締役	山本 雅也
取締役	岩佐 秀徳
取締役	安部 大介
社外取締役	松尾 修吾
常勤監査役	湯川 智夫
社外監査役	立野 嘉之
社外監査役	水野 創

株主サポーター懇談会開催のお知らせ

当社では、毎年8月の定時株主総会およびサービス説明会時に、多くの株主サポーターの皆様より、経営のテーマや各種サービスに関するアドバイスやご意見を頂戴しています。中でもサービス説明会については、もっと多くの時間と回数を設けてもらいたいというご意見を多数いただきました。こうした貴重なご意見を受けて、この度、株主総会とは別に当社サービスに関する忌憚のない意見交換の場を設けたいと考え、「株主サポーター懇談会」を開催いたします。

当社の取り組みに関する状況、今後のサービス展開についてご理解をいただくとともに、新しいサービスに関するアイデアなど株主サポーターの皆様のご意見をいただくことにより、今後のより良いサービスにつなげていきたいと考えています。

株主サポーターの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

日時：2013年2月16日(土) 10:00～13:00(予定)

場所：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>

<参加申し込み方法>

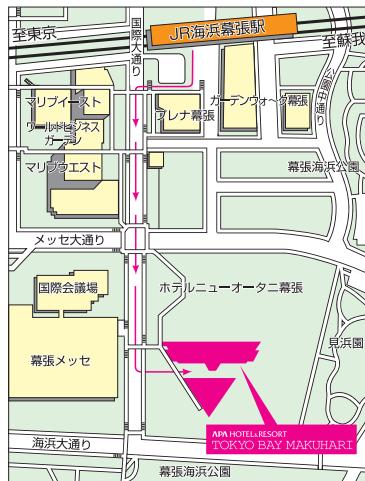
- ・本事業報告書とは別に、「株主サポーター懇談会」のお知らせの封書をお送りしております。
- ・参加を希望される株主サポーターの方は、その封書にあります返信ハガキに必要事項を記入し、個人情報保護シートを貼付の上、2月8日までに投函願います。

※本会の出席につきましては、株主サポーターの方を対象とさせていただきます。

※本会終了後、会社見学を希望される株主サポーターの方には会社見学会を予定しております。

※当日は、インターネット中継も予定しています(詳細につきましては、同封の「株主サポーター懇談会インターネット中継のアクセス方法」をご覧ください)。

アパホテル&リゾート(東京ベイ幕張)までのご案内



■電車 (東京方面から) 東京駅からJR京葉線快速電車で海浜幕張駅まで30分。海浜幕張駅(南口)から徒歩5分。秋葉原駅からJR総武線で幕張本郷駅まで38分。京成上野駅から京成線特急で津田沼駅のりかえて幕張本郷駅まで37分。幕張本郷駅から幕張メッセおよびQVCマリンフィールド行きバスで15分。(千葉方面から) 千葉駅からJR内房線・外房線で蘇我駅のりかえJR京葉線で海浜幕張駅まで20分。海浜幕張駅(南口)から徒歩5分。

■車 (東京方面から) 東関東自動車道湾岸習志野ICから3km(平常時5分)
(千葉方面から) 東関東自動車道湾岸千葉ICから3km(平常時5分) 国道357号線中瀬交差点(左折)から2分